

インフラ整備・開発～ジョグジャカルタ新国際空港への移転～
------------------------------

2014年10月にジョコ・ウィドド（以下ジョコウィ）政権が発足して以来、ジョコウィ氏はインドネシアの持続的な経済成長を実現させるための基本政策として、外国からの投資の増加や国内雇用の需要の向上、インフラストラクチャーの強化を重視し外国からの投資の規制緩和や各種許認可手続きの簡素化など、これまでに16項目の経済政策パッケージを実施してきました。そのなかでも今回は経済政策パッケージの9項目にあるインフラストラクチャーの強化に焦点を当ててレポートいたします。

#### 【ジョコウィ政権による主要なインフラ整備・開発計画】

以下のインフラ整備・開発計画表（一部を抜粋）から整備・開発状況、また、近々完全移転する事が決まったジョグジャカルタ新国際空港について紹介いたします。

カテゴリー	内容
道路	新規道路：2,650km、高速道路：1,000km、道路補修：46,770km
高速交通	バス高速システム（BRT）29都市、大量高速鉄道（MRT）6都市圏、17都市
港湾・海運	新規港湾建設24港、フェリー用港湾建設60カ所
空港	新空港15港、航空貨物用空港開発（6カ所）

参照：国家開発企画庁資料

#### ●道路：チカンペック第2高速道路

ジャカルタと東部の工業地域を結ぶ第2チカンペック高速道路（チカンペック高速道路の高架部分）が2019年12月に完成し、現在は暫定供用が開始され無料で乗用車の通行が可能となっています。正式な商用開業時期や通行料金については現在検討中で、今後発表される予定です。

#### ●高速交通：ジャカルタ都市大量高速鉄道（MRT）

ジャカルタ中心部の渋滞緩和対策のため2013年に着工されたジャカルタ都市大量高速鉄道（MRT）建設は、第1区間（Bandaran HI から南へ Lebak Bulus までの13駅）が2019年4月に開業し現在運行されています。（詳細は2019年3月号のレポートにおいて取り上げています）第2区間（Bandaran HI から北へ Kampung Bandan までの8駅）も既に着工されており、2024年の開業を目指し工事が進められています。また第3区間の東西線も今年中の着工が予定されています。

#### ●港湾：パティンバン港

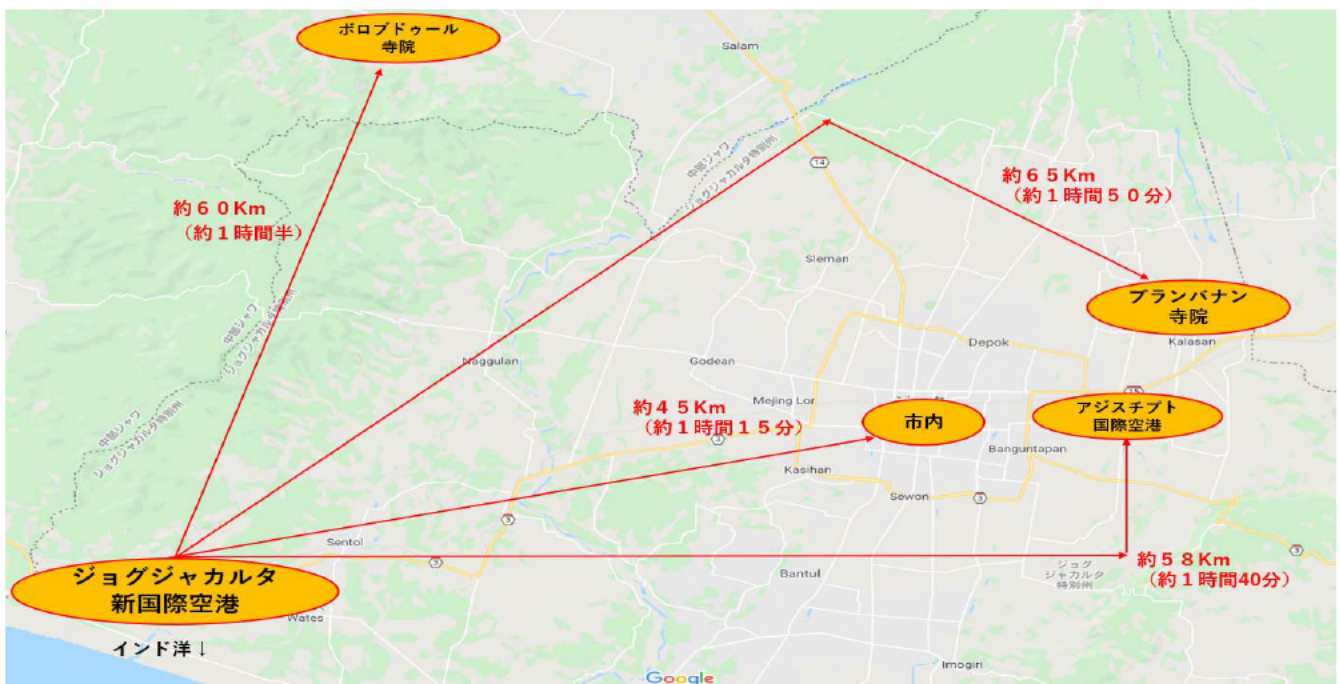
ジャカルタ首都圏唯一の国際港であるタンジュン・プリオク港への貨物搬送量や交通の一極集中を軽減させるため、2018年に着工されたパティンバン新規港湾建設は、2019年6月に一部試運転が開始され、2022年には完全開港が予定されています。（第一期開発計画については過去のレポートにおいて取り上げています）また、タンジュン・プリオク港と同等規模の国際港湾ターミナルにするため、完全開港の2022年以降も引き続き拡張が続けられる予定です。

●新空港：ジョグジャカルタ新国際空港

中部ジャワのジョグジャカルタ市内から 30 分程のところにあるアジスチプト国際空港が手狭となり 2017 年から建設が進められていたジョグジャカルタ新国際空港は、2019 年 5 月に開港されました。現在は国内線の一部と、日本以外への国際線の一部が新空港で運行されています。その他の国内線及び国際線は、引き続きアジスチプト国際空港での離発着が行われていますが、2020 年 3 月末よりアジスチプト国際空港からジョグジャカルタ新国際空港へ完全移行される事が公表されました。

新国際空港の旅客対応能力は、現在のアジスチプト国際航空の約 2 倍となる年間 1,500 万人、また、拡張用地も既に確保されているため、最終的には年間 2,000 万人まで対応可能とされています。ターミナル内には複数の食堂やカフェ、雑貨店などが併設され、設備面はこれまでよりも充実し、より快適な環境で建設されています。新国際空港の本格的な稼働により、今後は観光産業の活性化や雇用需要の向上などが見込まれています。

なお、新国際空港はジョグジャカルタ西部郊外のインド洋に面した位置にあり、アジスチプト国際空港と比較すると市内や主な観光名所へのアクセスが不便になるという一面もあります。一定期間、無料でシャトルバスが運行されていますが、今後は民間のバス会社で空港～ジョグジャカルタ市内間でバスが運行されるほか、空港の最寄り駅と観光名所を結ぶバス路線も開設される予定です。



空港	区間	距離	時間
アジスチプト国際空港 (空港コード：JOG)	空港～市内	約 9.5Km	約 30 分
	空港～ボロブドゥール寺院	約 44Km	約 1 時間 20 分
	空港～プランバナン寺院	約 8Km	約 15 分
ジョグジャカルタ新国際空港 (空港コード：YIA)	空港～市内	約 45Km	約 1 時間 15 分
	空港～ボロブドゥール寺院	約 60Km	約 1 時間 30 分
	空港～プランバナン寺院	約 65Km	約 1 時間 50 分

Google Map より

現在、スカルノハッタ国際空港ージョグジャカルタ新国際空港間の国内線は、ガルーダインドネシア (1日10便)、スリウィジャヤ航空 (1日2便)、パティック・エア (1日4便)、ライオン・エア (1日5便) の4社が運行しています。国際線については、前述の通り2020年3月末以降は全便、ジョグジャカルタ新国際空港へと移転される為、ビジネスや観光で中部ジャワを訪問される際には、予め空港の位置確認や空港から訪問先への移手段などを十分ご確認されることをお勧め致します。

新空港移管に伴い、これまで直行便が無かった国への国際線運航計画もあるようです。については今後更なる観光都市としての成長はもちろん、並行して計画されている物流倉庫や工業団地の整備、また新たな観光名所の建設計画によってジョグジャカルタの今後の発展が期待できそうです。

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地 : Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 46

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,  
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者 : PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア : インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています (岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。